

三原市立第二中学校「校長通信」

校訓「響き合う二中っ子」

キャッチコピー「響き合っていますか、私たち」

第9号

平成21年9月2日

平成21年度2学期の取組み—校訓を活かした学校づくり

1 校訓「響き合う二中っ子」の具現化

- キャッチコピー「響き合っていますか、私たち」へのこだわり
- すべての教育活動を通して校訓を追究—学校行事や生徒会行事はその絶好の機会

2 文武両道—学校だより No.7 参照

- 確かな学力の育成—「ひろしま」学びのサイクル
☆知識・技能の習得，習得された知識・技能の活用・探究
☆思考力・判断力・表現力の育成
☆学ぶ意欲—家庭学習・生活との接続(自主的な学習—復習→予習)←宿題の工夫

○ 授業づくり

*しっかり教え，じっくり考えさせ，はっきり表現させる授業

☆授業規律(学習規律)3ヶ条の徹底

①「ベル着席」「始めと終わりの挨拶」 ②「立腰」

③「学びの共同体」創り—相互作用(対話)の成立

△聴く △答える △問い返す—言語活動の充実←言語技術の活用

☆学び方に関する評価の観点

ステップ	I	II	III	IV
学習の準備	教室に入室できている。	着席できている。	授業の準備ができている。	自習を始めている。
発表の仕方	答えだけを発表する。	大きな声ではっきり発表する。	身体を皆の方に向けて発表する。	手振り身振りを使って発表する。
聴き方	私語をしない，よそ見をしない。	身体を発表者に向けて聴く。	うなづきながら聴く。	メモを取りながら聴く。
話し合いの仕方	相手の意見を聴こうとする。	話し合いに参加している。	額を寄せ合って話し合っている。	全員が意見を出し合っている。

- 読書のすすめ—偉人伝等←人間としての生き方に学ぶ。キャリア教育の一環。

○ 部活動の充実

☆礼儀等—生活三訓(あいさつ・時間厳守・整理整頓)の徹底

☆掛声—意欲，表現力 ☆絆 ☆練習内容の工夫 ☆指導者のかかわりの強化

3 組織目標と個人目標の連鎖・統合—組織の一員としての動き(同じベクトルで)

4 研究の充実—生徒力・教師力・学校力の向上

- 研究テーマ「言葉の力と体験の力によって『豊かな心』『確かな学力』を高める—『学びの共同体』創りを通して—」

- 授業研究

- 公開研究会—11月5日

☆保護者・地域・教育関係者(小・中・高等学校)を対象に公開

☆道徳及び教科の授業(全クラス公開)，1年ミュージカル，2,3年合唱，講演(広島大学大学院教授 越智 貢先生)，研究発表(研究主任)，講評(三原市教育委員会指導主事)

5 地域に開かれた学校づくり・保護者に信頼される学校づくり

- 家庭・地域との連携 ○地域人材の活用 ○広報活動の充実

- 自己評価・学校関係者評価・第三者評価の充実

6 小・中連携及び中・高連携—授業研究，生徒指導，キャリア教育